

## 学会記事

### 懇話会

日時: 1999年6月23日(水) 午後3時から5時まで

場所: 総合政策学部103講義室

話題提供者と標題:

黒岩幸子: 今世紀中に日露平和条約は締結できるか — 北方領土問題と日露関係の動向 —

徳久 勲: 近東のメディア事情

### 編集委員会

第1回: 1999年4月19日(月) 13:30~14:55: (学科長室): 土井、小針、リヒタ、高橋、村木、由井

1: 1998年度第8回議事録確認

2: 第1号の編集

3: 学会誌の号数について

暦年ごとの巻号によることとした

4: 第1巻第2号の編集作業

5: 第1巻第1号の発送先リスト作成

6: その他

1) 英文活字: より明瞭なものとする。

2) 脚注: 文末文献の直前に入れる。

3) 謝辞: 脚注の前に入れる。

4) 和文論文では、欧文タイトルを文頭和文タイトルの下に入れる。

5) 論文の最初の頁、最下部のアンダーラインの下に著者の所属、郵便番号、アドレスをいれる。郵便番号は020-0193。

7. 第2回委員会は5月19日(水) 11:00~12:00とする。

第2回: 1999年5月19日(水) 11:00~12:00: (学科長室): 出席者: 土井、由井、小針、高橋、村木、オ  
ブザーバー: 地主(学会理事)

1: 前回議事録確認

2: 送付先リストの決定

3: 投稿規程の改訂

4: 学会誌編集作業

次回、編集委員会の開催日: 6月2日(水) 11:00~12:00

第3回: 1999年6月2日(水) 11:20~12:00: (学科長室): 出席者: 土井、由井、高橋、村木、小針

1: 第2回議事録確認

2: 第1巻第2号の受理確認と編集作業

2-1: 受理確認

2-2: 今後の作業過程(第1巻第2号分)

2-3: 編集作業原案

## 2-4: 第1巻第3号の発行について

(報告)

- 1: 別刷について
- 2: 発送業務について
- 3: 第1巻第2号掲載予定原稿中、英文と数式の多い論文について

### 編集後記

前号、つまり創刊号のこの欄で述べましたが、あらゆる雑誌の体裁をきめるのはかなり手間のかかるものです。そちらに気をとられていると肝心な内容面で手抜きをするものであることも後になって思い知らされました。寄稿者のお名前を誤植のままに印刷してしまったり、中国語にすべき目次を和文にしてしまったりと際限のないエラーの連続でヒットは殆どなしの状態でした。

ただ、表紙のデザインは手前味噌ではありますが、好評をいただいているように感じております。これはひとえに村木委員のご努力に負っております。(ここだけの話ですが、このデザインは某国内雑誌と海外のある雑誌にヒントをえております)。

問題は、定期的な刊行をいかにして維持するか、更には掲載内容をいかにしてより高くしていくかにあります。前者は、会則にある「普通会员」(つまり本学教員)の年1回以上の投稿を期待することによって、また後者は査読制度の適切な運用によって実現できるのではないかと考えております。査読結果を締切までにいただけないと編集作業が捗らず苦勞することもありますか、これはよくあることと委員一同覚悟してはおります。(T. D.)